



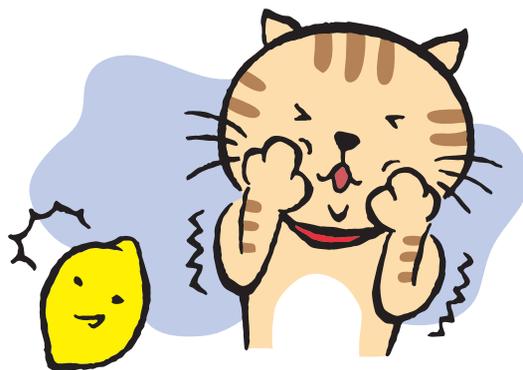
ワンちゃん・ネコちゃんの生態から考える・・・

おいしさの感じ方と食欲不振の対処法

ワンフーご愛用の方は充分ご存知かも知れませんが、
ワンちゃん・ネコちゃんの変わらぬ健康のため再認識して頂きたい「ワンちゃん・ネコちゃんの生態」。

ワンちゃんは「甘いもの」が好き。
ネコちゃんは「すっぱいもの」が苦手。

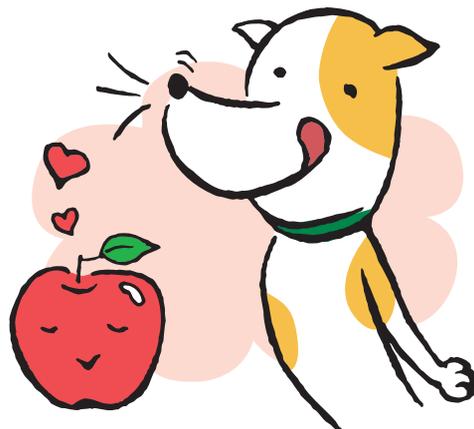
ワンちゃんは果物の甘みや、乳の甘みに強く反応するようです。これは、舌の粘膜細胞に“糖”を感知する味蕾がよく発達しているからです。ネコちゃんは特に甘いものが好きということは無いようですが、すっぱさや苦味をとっても嫌います。これは腐ったものなどを回避するためと考えられます。ただ、人間ほどは噛まずに丸呑みする食性なので、味覚に関しては繊細な感じ方はできないでしょう。



だから、香りが重要。
甘い香り、おいしい香り。

ワンちゃんの五感の中で、最も高い能力が嗅覚です。人間の約100万倍～1億倍の能力を持っています。ニオイの粒子の濃度が100万分の1の薄さでも嗅ぎ取ることができるのです。ネコちゃんも優れていますが、それでもワンちゃんの10分の1程度です。

ワンちゃんは特に匂いで美味しさを感じて食べるというタイプと言えるでしょう。



甘いものは大丈夫、すっぱいものは腐っていると、
本能的に感知しているのです。

だからといって化学調味料や香料、
コーティングをどう思いますか？

ワンちゃん・ネコちゃんが喜んで食べるフードを作るのは簡単です。おいしく感じる味やニオイを付けてやるのです。しかし、元来自然界に存在しないような食材を「喜んで食べるから!」といって与えてよいのでしょうか?人間の子供にもそんな食事をさせますか?ワンフーを長くご利用いただいている方はご存知と思いますが、改めて見つめなおしてみましょう!!

ワンフーは生態を考えた上で
自然なおいしさや香りを、
りんごなどで実現しています。

りんごは食物繊維・リンゴ酸・クエン酸など、注目されている機能性成分が豊富。ですから、シニアのワンちゃんやネコちゃんのアンチエイジング、高血圧や高コレステロールのワンちゃんやネコちゃんの健康維持などにもぴったりです。



ワンフーの味について、以前はこんなお声をいただいていた!!

※りんご配合以前にお寄せいただいたお客様の声です。

はじめの2〜3日は全く食べてくれませんでした。
でも、パンフレットに書かれていた様に、慣れるまで待ちました。
食べ始めてからは良く食べてます。

鈴木さま(静岡県)

あまり食いつきがよくなく、
ゆでたキャベツ・かつおぶしを混ぜて食べさせています。

井戸さま(愛媛県)

ワンフーは人工の味付けや香り付けなどを一切行っていません。ですから、味付け・香料・コーティングなどのフードに慣れたワンちゃんやネコちゃんは今中々食べてくれないというご意見もいただいていた。

このご意見を元に、プレミアムドッグ・プレミアムキャットに2012年5月からりんごを配合。ワンちゃん・ネコちゃんの食いつきは大変よくなったと考えられます。是非、ワンフーの食いつき・匂い・食べっぷりについてご意見をお寄せください。

ワンフーを食べ続けているシェパードは、「嗅覚が優秀」と認められています!!

自然な食材を使用し、人工の味付けや香り付けなどを一切行っていないワンフーを食べ続けているシェパード達。日本警察犬協会の大会でチャンピオン犬はもちろん、歴代上位入賞を多数果たしています。昨年、2012年度日本訓練チャンピオン決定競技会では、足跡追求作業において多頭の上位入賞も果たしています。ワンフーのフードにより嗅覚を損なわず、優秀な訓練士の訓練成果が実ったためと考えられます。



エックス フォン マイリーベ(哲三くん)
「2012年日本訓練チャンピオン」第2位
「2012年春季西日本訓練チャンピオン」優勝
など様々な大会で上位入賞。

医食同源
コラム

ワンちゃん・ネコちゃんの「飢え」と「肥満」

動物は「飢え」には強いが「肥満」には弱い

地球上の動物で「飢え」から開放されているのは人間に飼育されている動物だけです。野生動物をはじめ他のほとんどの動物たちは、空腹を抱え、毎日飢えからくる栄養失調の危険性と闘っています。もちろん人間や、人間に飼われている一部の動物たちでさえ、この飢えから解放されたのは、地球上の動物の歴史から見てもつい最近にすぎません。

しかし、皮肉なもので、飢えから解放されると共に一部の人間・動物たちは新たな戦いを余儀なくされています。「多栄養」とその結果としての「肥満」との戦いです。これには、食欲コントロールが不可欠ですが、これが生存の本源からDNAに刻印されている限り極めて難しいのです。

徳川5代将軍綱吉の時代、大奥で寵愛されていた犬達は、蒸しアワビ・鯛・赤貝・焼き豆腐などを食し、中国宮廷で飼われていたペグニーズは、ペキンダック・海老・フカヒレなどを食していました。このような食生活の頃、犬達の寿命はどうだったのでしょうか。

ワンちゃんの認知症

日本で飼われている犬の認知症が多いと聞きます。日本の犬達も食生活の変化が肉体の寿命と脳の寿命のアンバランスを招いているのでしょうか?寿命が延びても必ずしも幸福とは限りません。国民の97%が幸福と感じるブータン王国の犬や猫達は、何を食べてどんな暮らしをしているのでしょうか?

“ほどほど”の文化、自律に思いをはせながら日本の犬や猫の幸福度はどうだろうかと考えさせられます。



動物介在教育・療学会名誉理事長
北里大学獣医学部教授
獣医学博士 樋口誠一



wanfoo® 環境プラント工業株式会社
ワンフー事業部

〒689-3536 鳥取県米子市高島130-1

0120-020-788

TEL:0859-37-0000 FAX:0859-37-1110

ワンフー

検索

<http://www.wanfoo.co.jp>